

## 「親子キャンプ秋編」

～あかぎで遊ぼう～

### 1. 趣旨

親子でハイキング等の野外活動を通じて、自然体験の楽しさに触れるとともに、親子の交流を深める。さらに、読み聞かせを通じて、絵本の世界に触れ、豊かな心の育成を図る。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和5年9月30日(土)～10月1日(日)【1泊2日】

#### (2) 参加者

##### ①参加対象

幼児(4～6歳児※小学校入学前)とその保護者 ※兄弟姉妹がいる場合も参加可

##### ②参加人数

48名(16家族)

### 3. 企画運営のポイント

- (1) 運動遊びでは、「幼児期の遊びを中心とした運動プログラム」を取り入れることで、親子で遊びながら幼児期の基本的な動きが身に付くようにする。
- (2) 絵本専門士による絵本読み聞かせでは、子供の豊かな心を育成する。また、絵本の紹介や読み聞かせのコツを伝え、家庭での読み聞かせの参考となるようにする。
- (3) 「所外活動(赤城山ハイキング)」では、親子で一緒に赤城山の自然体験を楽しみながら、親子の交流を深める機会を設ける。雨天時(群馬県立ぐんま昆虫の森)は、自然の生き物と触れ合いながら、親子の交流を深める機会を設ける。

### 4. 日程

	午前	午後	夜
9月 30日 (土)		始まりの会 運動遊び 絵本読み聞かせ	焚き火・星空観察(自由参加)
10月 1日 (日)	所外活動 晴天時 (赤城山ハイキング) 雨天時(実施) (群馬県立ぐんま昆虫の森散策)	終わりの会	

## 5. 主な活動内容



運動遊び



絵本読み聞かせ



絵本読み聞かせ



焚き火



群馬県立ぐんま昆虫の森散策



群馬県立ぐんま昆虫の森散策

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足9家族(56%) やや満足7家族(44%) やや不満0家族 不満0家族

### (2) 参加者の声

- ・ボール投げなど、全身を使って遊べました。もっと遊びたいと言っていました。
- ・絵本をたくさん読んでいただき、子供が夢中になっていました。読み聞かせの参考になりました。
- ・焼きマッシュマロがとてもおいしかったようで、次の日も話をしていました。焚き火もあまり見せたことがなかったので、参加できてよかったです。
- ・昆虫が大好きだったので楽しく過ごせました。子供たちは満足そうでしたのでよかったです。

### (3) 成果

- ・運動遊びでは、元気いっぱい遊ぶ子供の姿や親子で楽しそうに遊ぶ姿が多く見られたことから、運動遊びの場の設定は体験活動の楽しさに触れるのに効果的であった。
- ・絵本専門士の読み聞かせに、子供たちは夢中になって聞き入っていた。保護者からも、読み聞かせの参考になったなどの感想が得られたことから、絵本専門士の活用は、子供たちの豊かな心を育むのに有効であった。
- ・親子で焚き火を囲むプログラムは、親子の交流を深めるだけでなく、大人同士、子供同士の交流を生む時間につながった。

### (4) 課題

- ・本事業をチラシによって知った参加者が最も多く、ついでホームページであった。各媒体による広報も併せて、より計画的に広報活動を進める必要がある。
- ・天候によるプログラム変更があった。雨天時のプログラムとして、より趣旨にそった実施方法を考えていく必要がある。

担当 企画指導専門職 平澤 輝樹